パナマ経済（２０１４年８月）

２０１４年８月のパナマ経済は以下の通り。

主な出来事

●２９日，パナマ・コスタリカ－ＥＦＴＡ 自由貿易協定（ＦＴＡ）が発効した。パナマ－スイス間は２９日にＦＴＡが発効，パナマ－アイスランドは９月５日に発効。そのほかのＥＦＴＡ加盟国については各国の批准待ちである。

１　経済一般

（１）上半期のＧＤＰ成長率

会計検査院は，上半期のＧＤＰ成長率が３．７％であったと発表。漁業，運輸業，通信業，ホテル業などが好調である一方，鉱業やパナマ運河拡張工事の遅れの影響を受けている建設業の成長率が芳しくない。

（２）パナマのサービス輸出額

１日，国際貿易センター（ＩＴＣ）はパナマの２０１３年度のサービス輸出額が前年比５．９２％増の９４億４６００万ドルであり，５１億ドルの黒字を記録したと発表した。

（３）上半期の新車販売台数

パナマ自動車販売業協会（ＡＤＡＰ）によると，上半期の新車販売台数は前年同期比４．７％増の３万３２４５台であった。

（４）エタノール価格の変更

１９日，価格固定制のエタノールを２２日より国際価格に応じた変動制にすることが閣議決定された。これを受け，国内唯一のエタノール製造元であるＣａｍｐｏｓ　ｄｅ　Ｐｅｓｅは他国に比較しパナマのエタノールの製造コストが高額であることを理由に，本決定は妥当ではないと主張している。

（５）上半期の電力消費量

２０日，会計検査院は上半期の電力消費量が前年同期比３．８％増であったと発表。消費量が最も増加した分野は一般消費であり５．６％増。他方消費量が減少した唯一の分野は電力不足の対策を講じている製造業分野であり３．５％減であった。

（６）上半期の水力発電量

会計検査院は上半期の水力発電量が前年同期比１７．３％減であったと発表。例年より雨量が少ないことが要因として挙げられ，発電量の減少は前年に引き続き二期連続。一方，輸入電力は前年同期比１５９％増であり，国内の電力供給が輸入電力に依存する傾向にあると指摘する。

（７）７月の基礎食料品バスケット

経済財務省（ＭＥＦ）は７月の基礎食料品バスケットの金額が前年同期比４．３％減，前月比７．７％減の３１８．４８ドルであったと発表。基礎食料品バスケットの金額が減少するのは初めてであり，７月１日に導入した２２品目の小売り上限価格の凍結の効果が現れていると発表した。

（８）上半期の経済活動指数

会計検査院は，上半期の経済活動指数が前年同期比３．７４％であったと発表。前年の経済活動指数は前々年同期比７．９５％であったため，経済成長が鈍化傾向にあると指摘している。

２　通商、自由貿易協定、国際経済関連

（１）パナマ－メキシコ自由貿易協定

５日，パナマ－メキシコ 自由貿易協定発効に向けた法案が閣議決定された。

（２）飼料用トウモロコシの輸入関税撤廃（一時的な措置）

５日より飼料用トウモロコシの輸入関税が一時的に撤廃される。撤廃される期間は２０１４年１２月３１日までであり，２０１５年１月１日より従来の４０％が輸入関税として課せられる。

（３）上半期の輸出額

会計検査院は，上半期の輸出額が４億９７０万ドルであったと発表。内訳はバナナが総額の１１．３％，魚粉が５．９％を占める。他方,２０１３年度に最も輸出額が高かった金は国際市場における価格下落の影響を受け，主要産品２０品目の中に入らなかった。

（４）パナマ・コスタリカ－ＥＦＴＡ　自由貿易協定の発効

２９日，パナマ・コスタリカ－ＥＦＴＡ 自由貿易協定が発効した。パナマ－スイス間は２９日にＦＴＡが発効，パナマ－アイスランドは９月５日に発効。そのほかのＥＦＴＡ加盟国については各国の批准待ちである。

３　パナマ運河及びインフラ関連

（１）パナマ首都圏都市交通１号線（メトロ１号線）整備計画

１３日，メトロ１号線のサン・イシドロまでの路線延長工事（２.３km）の進捗率は７２％に達した。同延長部分は２０１５年第1四半期に開業される予定。

２７日，バレーラ大統領臨席のもとロテリア駅の完成式典が開催された。

（２）パナマ運河拡張工事

２８日，第三閘門建設工事の大西洋側第一工区で死亡事故（１名）が発生した。同工区では２８－２９日の２日間，追悼のために工事を一時停止した。同工事の事故死亡者数累計は７名となった。

４　経済指標、経済見通し等

（１）ＧＤＰ成長率の見通し

１日，ＭＥＦは第１四半期のＧＤＰ成長率が５．８％であり，年内には６－７％に達する見込みと発表。背景には堅調な海外からの直接投資と国内需要増が挙げられる。

（２）国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ＥＣＬＡＣ）による発表

４日，ＥＣＬＡＣはパナマのＧＤＰ成長率を年度当初の見込み値である７％から６．７％に下方修正したことを発表した。インフラプロジェクトへの投資の鈍化が主な原因であるものの，ラテンアメリカ域内では引き続き最大の伸び値を記録する見込み。

（３）上半期の財政赤字対名目ＧＤＰ比

１１日，デラグアルディア経済財務大臣は本年度の財政赤字対名目ＧＤＰ比の上限を法で定めている２．７％から引き上げる可能性が高いと発表した。なお６月時点での財政赤字は１５億１０００万ドル（対ＧＤＰ比３．２％）。

（４）必要融資金額の見通し

２０日，サラック経済財務次官は向こう５年間で必要な融資金額が１００億ドルであると発表。約４３億ドルが債務の返済にあてられ，残りが現存する債務に再融資される見込み。

（５）経済指標は別添資料を参照願いたい。（了）